

「感謝の気持ちを伝える会」を計画しよう

学級で、日ごろ登下校を見守ってくださっている地いきのお年寄りのみなさんを学校に招待して、『感謝の気持ちを伝える会』を行うことにしました。

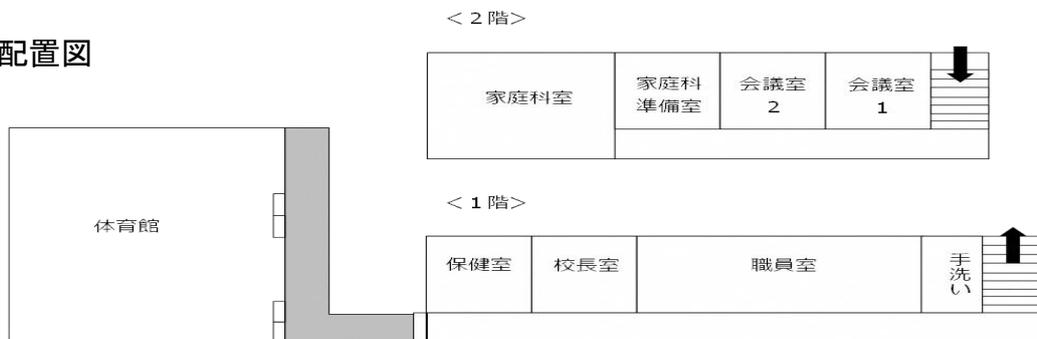
あなたは実行委員になり、「会のプログラム案」を作成し、学級会でみんなに提案をすることになりました。プログラムの順番や時間配分、活動内ようなどの提案内ようを考え、下記の(1)(2)の問いに答えましょう。



資料1 実行委員や先生と相談して、決定していること

- 期日・・・令和〇年2月25日
- 時間・・・午前10時30分～正午12時
- 使用できる場所・・・体育館と家庭科室（どちらも使用できる）
- プログラム内よう
 - ・はじめの言葉（時間：2分間、場所：体育館または家庭科室のどちらか）
 - ・おわりの言葉（時間：3分間、場所：体育館または家庭科室のどちらか）
 - ・プレゼントタイム（時間：5分間、場所：体育館または家庭科室のどちらか）
：グループごとに手作りティッシュケースと手紙をお年寄りの方へ渡す。
 - ・ふれあいタイム（時間：□分間、場所：家庭科室）
：かんたんに準備できる食べ物や飲み物を出して、グループごとにお年寄りの方といっしょに食べながらお話をする。
 - ・合唱タイム（時間：10分間、場所：体育館または家庭科室のどちらか）
：音楽の授業で学習した1曲を発表する。
 - ・むかし遊びタイム（時間：□分間、場所：体育館）
：けん玉、お手玉、おはじき、ベーゴマ、おりがみの5種類の遊び道具で、お年寄りの方といっしょに遊ぶ。

資料2 教室配置図



(1) 資料1と資料2をもとにして、解答用紙にある「会のプログラム案」の表の空らんをうめましょう。また、プログラムの順番と、「ふれあいタイム」と「むかし遊びタイム」の時間配分について、自分の考えを学級会で仲間に説明します。その【説明原こう】を160字以上、200字以内で書きましょう。

<注意点>

- ・「ふれあいタイム」「むかし遊びタイム」の場所は決まっています。時間（長さ）は自分で決めましょう。
- ・移動や休けいなどの時間はプログラムの内容にふくめます。（書かなくてよいです。）

(2) 合唱タイムでは、5年生までに音楽の授業で学習した1曲を発表します。どんな曲がよいか考えて、曲名を書きましょう。また、その曲を選んだ理由を説明しましょう。

(2)

(曲名)

(選んだ理由)

「感謝の気持ちを伝える会」を計画しよう

年 組 番 氏 名

＊「できた」と思うこう目に○をつけましょう。

問題番号	ふり返りのこう目	言葉の力	資料を活用する力	問題を見つけて解決する力
(1)	① 考えたプログラムは、下の三つのことができていますか。 ・「むかし遊びタイム」を体育館で行う。 ・「ふれあいタイム」を家庭科室で行う。 ・会全体の時間が、合計90分間になる。			
	② 資料2を参考にして、体育館（1階）と家庭科室（2階）の間の移動が1回（体育館→家庭科室、または家庭科室→体育館）ですむように、プログラムの順番と場所を工夫することができましたか。			
	③ 【説明原こう】では、160字以上200字以内で、プログラムの「順番」と「時間配分（ふれあいタイム、むかし遊びタイム）」それぞれの理由を説明することができましたか。			
	④ 【説明原こう】では、学級会でみんなに説明するということを考えて、「～です。」「～ます。」などの、場にふさわしい言葉づかいで原こうを書くことができましたか。			
	⑤ プログラムの順番と時間配分を、「お年寄りの方の健康や体調」や「お年寄りの方と親しめること」、「お年寄りの方への感謝の気持ち」などから考え、【説明原こう】に書くことができましたか。			
(2)	① 「がんばっている自分たちを見てほしい」「……という気持ちを伝えたい」など、「自分たちの伝えたいこと、見てもらいたいこと」を考えて曲を選び、選んだ理由を書くことができましたか。			
	② 「お年寄りの方が喜んでくださるように」「親しみを感じてもらえるように」など、聞き手となるお年寄りの方の「受け止め方」を考えて曲を選び、選んだ理由を書くことができましたか。			

＊感想を書きましょう。

「感謝の気持ちを伝える会」を計画しよう

評価の観点

観 点		規 準	言語能力	情報活用能力	問題発見・解決能力
(1)	①	資料1に示されている「内容」、「時間」、「場所」の条件を理解してプログラムを作っている。	「むかし遊びタイム」を体育館、「ふれあいタイム」を家庭科室でそれぞれ実施することとして、会全体で合計90分間になるプログラムを作ることができるか。		
	②	資料2に示されている教室の位置関係から移動が少なくなるよう考慮している。	NO. 1からNO. 6までのプログラムで、体育館（1階）と家庭科室（2階）との間の移動が1回で済むようになっているか。		
	③	場面状況から必要な説明内容を的確に捉えて、説明の原稿を書くことができる。	160字以上200字以内で、プログラムの「順番」と「時間配分（ふれあいタイム、むかし遊びタイム）」それぞれの「理由」を説明することができるか。（全てのプログラムを挙げていなくてもよい。主なもののみでよい。）		
	④	場面状況から相手意識をもって、適切な話し言葉で説明原稿を書くことができる。	「学級会での説明」という場面状況を踏まえて、敬体（～です。～ます。）の適切な言葉遣いで原稿を書いているか。		
	⑤	会の趣旨を理解し、お年寄りの方に対する相手意識をもつことができる。	プログラムの順序と時間配分を決定した理由が、「お年寄りの方の健康や体調」や「お年寄りの方と親しめること」、「お年寄りの方への感謝の気持ち」などの視点から記述されているか。		
(2)	①	「自分たちの思いや願い」といった目的意識をもって活動を考えることができる。	「がんばっている自分たちを見てほしい」「……という気持ちを伝えたい」など、「自分たちの伝えたいこと、見てもらいたいこと」を考えて曲を選び、選んだ理由を記述しているか。		
	②	「相手の方の思いや状況」といった相手意識をもって活動を考えることができる。	「お年寄りの方が喜んでくださるように」「親しみを感じてもらえるように」など、聞き手となるお年寄りの方の「受け止め方」を考えて曲を選び、選んだ理由を記述しているか。		

参 考 問題に関連する教科の単元等

- [国語] …4年生「よりよい話し合いをしよう」
- [算数] …3年生「時こくや時間のもとめ方を考えよう」
- [生活] …2年生「ありがとうの 気持ちを つたえよう」
- [音楽] …5年生までの「A 表現」における歌唱活動
- [道徳] …親切、思いやり

解答例

(1)

NO	プログラムの内容	時間	場所
1	はじめの言葉	2 分間	体育館
2	むかし遊びタイム	4 5 分間	体育館
3	ふれあいタイム	2 5 分間	家庭科室
4	プレゼントタイム	5 分間	家庭科室
5	合唱タイム	1 0 分間	家庭科室
6	おわりの言葉	3 分間	家庭科室

プログラムは、はじめにむかし遊びタイムで一緒に遊んでから、ふれあいタイムにすることで、遊んだことで話が盛り上がるようにしました。そのために、むかし遊びの時間をたくさん取りました。活動のあとに感謝の気持ちを伝えるために、プレゼントタイムと合唱を入れました。お年寄りのみなさんが、何回も移動しなくてもいいように、後半は全部家庭科室でやるようにしました。 <174字>

100

160

200

* 観点①が満たされていない解答の例

・プログラムの内容

「プログラムの内容」の欄に、「プレゼントタイム」、「合唱タイム」、「ふれあいタイム」、「むかし遊びタイム」以外の内容を記述している。4つのプログラムの順序については問わない。

・プログラムの時間

プレゼントタイム・・・5分間	ふれあいタイム	} 計70分間
合唱タイム・・・10分間	むかし遊びタイム	

という時間配分になっていない。また、「ふれあいタイム」、「むかし遊びタイム」のいずれかの時間が著しく短時間（15分以下）のものは、実施が難しいと考える。

・プログラムの場所

「ふれあいタイム」は家庭科室、「むかし遊びタイム」は体育館としていない。それ以外のプログラムの場所が、家庭科室または体育館としていない。

* 観点②が満たされていない解答の例

・活動場所が、「体育館→家庭科室→体育館（→家庭科室）」のように、体育館と家庭科室を往復する内容になっている。

岐阜県「未来の学びを育む問題」 小学校第5学年[福祉]

※ 観点③が満たされていない解答の例

- ・指定の文字数（160字以上200字以内）を満たしていない。
- ・「順序」「時間配分（むかし遊びタイムとふれあいタイム）」それぞれの設定理由が書かれていない。

プログラムは、むかし遊びタイム、ふれあいタイム、そのあとにプレゼントタイムと合唱をする順番にしました。むかし遊びタイムを40分、ふれあいタイムを30分にして、時間内におさまるようにしました。

(指定の文字数未滿、「順序」「時間配分」の理由が書かれていない。)

プログラムは、むかし遊びタイム、ふれあいタイム、そのあとにプレゼントタイムと合唱をする順番にしました。むかし遊びタイムとふれあいタイムで交流を深めて、そのあとにお礼の気持ちを伝える活動を入れたほうがよいと思うからです。むかし遊びタイムは40分、ふれあいタイムは30分にして全部で90分の時間内におさまるようにしました。

(むかし遊びタイムとふれあいタイムの、時間配分の「理由」が書かれていない。)

(前半略) むかし遊びタイムは40分、ふれあいタイムは30分にして、お年寄りの皆さんのことを考えて、このような時間配分にしました。・・・感謝の気持ちが伝わるように、このような時間配分にしました。

(時間配分の意図が不明確である。)

※ 観点④が満たされていない解答の例

むかし遊びタイムでお年寄りの人たちと一緒に遊んで仲良くなって、そこから家庭科室に移動。ふれあいタイムで、遊んだことを話題にして話して、お礼にプレゼントと合唱をする。楽しむためにむかし遊びタイムは40分、ふれあいタイムは30分。

(適切な話し言葉でない。)

※ 観点⑤が満たされていない解答の例

プログラムは、まず体育館ではじめの言葉とむかし遊びタイムをやって、そこから家庭科室に移動して、ふれあいタイム→プレゼントタイム→合唱タイム→おわりの言葉という順番でやります。移動に時間がかかるので、ふれあいタイムからあとはずっと家庭科室でやります。昔遊びタイムは道具の準備や片づけがあるからちょっと長く45分にして、その分ふれあいタイムを25分にして全体が90分になるようにしました。

(時間や効率などの「枠組みの側面」だけで理由が書かれている。)

※この解答の場合、観点②は満たされている。

- ・「お年寄りの方の体調・体力面」「お年寄りの方とより親しめるように」「感謝が伝わるように」のどれか一つでも、その視点からの記述があれば、この観点は満たされている。

(2) ※ 選んだ曲名による正誤はない。

※ 観点①が満たされている解答の例

(曲名)	Believe(ビリーブ)	など
------	---------------	----

(理由)	Believeは、私たちがクラスで大事にしてきた、やさしさや、助け合うことのよさを伝える曲です。私たちが大事にしてきたことを、歌でせいいっぱい伝えたいから、Believeがいいと思います。
------	--

＊ 観点②が満たされている解答の例

(曲名) スキーの歌 など

(理由) スキーの歌は、今の季節（2月）にぴったりの曲で、昔から歌われているし、お年寄りのみなさんも知っていると思います。いっしょに歌って楽しい気持ちになってほしいから、この曲にしました。

(参考) 音楽学習指導要領 歌唱共通教材

- 第1学年…「うみ」（文部省唱歌）、「かたつむり」（文部省唱歌）、「日のまる」（文部省唱歌）、「ひらいたひらいた」（わらべうた）
- 第2学年…「かくれんぼ」（文部省唱歌）、「春がきた」（文部省唱歌）、「虫のこえ」（文部省唱歌）、「夕やけこやけ」
- 第3学年…「うさぎ」（日本古謡）、「茶つみ」（文部省唱歌）、「春の小川」（文部省唱歌）、「ふじ山」（文部省唱歌）
- 第4学年…「さくらさくら」（日本古謡）、「とんび」、「まきばの朝」（文部省唱歌）、「もみじ」（文部省唱歌）
- 第5学年…「こいのぼり」（文部省唱歌）、「子もり歌」（日本古謡）、「スキーの歌」（文部省唱歌）、「冬げしき」（文部省唱歌）
- 第6学年…「越天楽今様」（日本古謡）、「おぼろ月夜」（文部省唱歌）、「ふるさと」（文部省唱歌）、「われは海の子」（文部省唱歌）

＊ 観点①、②ともに満たされている解答の例

(曲名) Believe(ビリーブ) など

(理由) ビリーブは、私たちがクラスで一番がんばって練習してきた曲なので、私たちのせいっぱいのがんばりを見てほしいし、やさしい歌の内ようのでいきのお年寄りのみなさんにあったかい気持ちになってもらえると思うので、この曲がいいと思います。